

かたの 市議会だより

2020/5/1 第196号

目次

- 2 議会のあらまし
- 3-6 一般質問
- 7 令和2年度一般会計予算を可決しました！
- 8-9 議会で決めたこと
- 10 閉会中の主な委員会等活動

地震避難訓練を実施！



令和2年度の予算が決まりました！

～一般会計・4特別会計・水道事業会計・下水道事業会計の各予算を可決～

3月6日、本会議中に地震が発生した場合の避難方法を習得するため、震度6強の地震が発生したことを想定し、全議員を対象にした地震避難訓練を行いました。





令和2年 第1回議会(定例会)が 開かれました

今議会は、2月25日から3月27日までの32日間を
会期として開かれました。

2月25日初日は、はじめに、市政運営にあたり市
長が重要施策や予算について表明する市長の施政方
針表明が行われました。

次に、4件の専決処分事項報告を受け、3件の人
事案件に同意、「監査委員条例等の一部改正」を可
決しました。

また、「学校教育振興基金条例の制定」など7議
案を総務文教常任委員会に、「みんなで咲かそう手
話の花」手話言語条例の制定」など12議案を都市環
境福祉常任委員会にそれぞれ付託し、「議員の派遣」
を決定しました。

4～6日には、市政全般に対する一般質問(3～
6ページ参照)を行い、6日の一般質問終了後、追
加上程された「国民健康保険条例の一部改正」を都
市環境福祉常任委員会に、「元年度一般会計補正予
算(第6号)」など2議案を総務文教常任委員会に
付託し、「ゆつゆつバス廃止についての請願」を不
採択としました。

最終日27日には、2常任委員会からの付託案件の
審査報告後、採決を行い、「2年度一般会計予算」
に対して提出された修正案及び追加上程された「2
年度一般会計予算に対する附帯決議」を否決し、2
常任委員会に付託したすべての議案を可決しました。
最後に、意見書3本及び「市長の専決処分事項の指
定の一部改正」を可決し、2常任委員会の所管事務
調査報告後、議会運営委員会及び2常任委員会の
「所管事務調査」を決定し、第1回議会は閉会しま
した。

(会議の結果は8～6ページをご覧ください。)

賛否の分かれた案件の議決結果	賛否の状況（○賛成　×反対）														
	公明			共産							市民	維新			市民
案　　件　　名	三浦	中谷	友井	皿海	北尾	藤田	松村	山本	松本	片岡	野口	白口	岡田	伊崎	久保田
（請願第1号）ゆうゆうバス廃止についての請願	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	
（議案第14号）令和元年度交野市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
（議案第17号）令和2年度交野市一般会計予算	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
（議案第17号に対する修正案）	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	
（議員提出議案第5号）令和2年度交野市一般会計予算に対する附帯決議	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	
（議案第18号）令和2年度交野市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
（議案第21号）令和2年度交野市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
（議案第24号）交野市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
（議案第25号）令和元年度交野市一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
（議案第26号）令和2年度交野市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
（議員提出議案第2号）選択的夫婦別姓制度の法制化に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	
（議員提出議案第3号）新たな国民負担に伴う地方議会議員の厚生年金加入に断固反対する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	

※1

※1

※公明は公明党、共産は日本共産党、空欄は会派無所属、市民は市民クラブ、維新は大阪維新の会です。

※1 久保田議員は議長として立場上、採決には参加していません。

日本共産党



四海 ふみ



北尾 学



藤田 菜里

ゆうゆうバス廃止でなく、市交通計画の策定を ほか



ゆうゆうバス

問 ゆうゆうバス廃止と代替策について1931件もの市民意見（9割が反対の意見）が出されたが、市は方針変更しない。なぜ市民の声を聞かないのか。

答 路線バス確保と、新規外出支援策で対象者や手段を拡充することが重要と考え、修正しない。

問 ゆうゆうバス以外に交通手段がない地域の対策は。

答 本市域は鉄道、路線バ

スが一定充足し、面的にカバーできている。

意見 高齢者や障がい者で駅まで歩けない人の対策もないまま、ゆうゆうバス廃止強行は認められない。行政・交通事業者・市民の参加で、地域の交通計画をま

す策定することを求める。

小中一貫校について

問 一中校区の小中一貫校は、プールを設置しない計画であるが、なぜか。

答 地域協議会等で、いきいきランドのプールが使えるなら設置は不要との意見があった。

問 保護者から、「市が一方的に進めている感じで不安」との声が多い。計画決定前に市民の声を聞くための説明会を行うべきと考え

答 方針・計画策定前の市民説明会等を行わず、策定後に保護者や地域に報告する。

児童虐待について

問 本市の児童虐待件数は。

答 2019年度（1月末迄）の相談件数25件、要保護児童数213人で、相談件数、要保護児童数とも、この3年間で約2倍となっている。

問 神戸市で、子ども家庭センターに助けを求め訪れた児童を追い返した問題があった。本市の夜間対応はどうか。

答 子どもが1人で訪ねてくる場合、担当職員不在の夜間は、警備員が、担当課の管理職に必ず連絡を入れ、府子ども家庭センター、警察と連携し対応に努めている。

公立あまだのみや幼稚園民営化について

問 民営化で浮いた財源は市内の保育全体の質の向上に使うと言ってきた。民間園の看護師配置補助制度の

内容は。

答 公立園の看護師を非常勤雇用とした場合の報酬額と同水準とした。

問 小規模保育施設は対象か。

答 対象外。

意見 乳幼児突然死症候群・食物アレルギー対応等のリスクは小規模保育施設も同じである。制度改善を求める。

SDGsの取り組みについて

問 SDGs目標①「貧困をなくそう」の達成へ、本市で取り組む具体案として

①国民健康保険料の子の均等割り免除や軽減が有効だが市の考えは。

答 目標達成に寄与するが、統一国保を進める中では適当でない。

問 提案②として、全国約30%の自治体が給食の無償化・一部補助を実施しており、貧困対策にも繋がるが市の考えは。

答 市単独施策としては困難だが、国等の動向を注視していく。

会派無所属

松本 直高



施政方針について

問 施政方針を貫く理念や政策の特色は？

答 人口減少と地域経済の縮小を克服し、持続可能で活力ある交野の実現を目指すことであり、利害関係者との相互理解の下、特にまちの成長に向けての基盤づくりに重きを置いています。

パブメについて

問 適正手続の観点から理解に苦しむ制度運用があり市の見解を求める。

答 必要な助言を行い、全庁的な共通認識の下、適正な手続が行われるよう周知徹底する。

問 政治的な意図によって過度に適正手続の側面が歪められないようにすべきでは？

答 疑義が生じないよう意見の提出方法のルール化等を検討します。

その他

成年後見、ふるさと納税、災害対策、水道事業など

大阪維新の会



伊崎 太陽



白口 誠二



岡田 伴昌

アスマイルについて、外出支援について ほか

大阪維新の会は施政方針

の内容を中心に、アスマイルについて、外出支援について、財産管理についてなど大きく7点の一般質問を行いました。

詳細は議会のホームページの議事録や本議会の録画をご覧ください。

アスマイルについて

問 大阪府健康づくり支援プラットフォームの専用スマホアプリ「アスマイル」の交野市の登録状況は。

答 令和2年2月5日現在



アスマイル歩数計リーダー(本庁1階設置)

733名。

問 大阪府から取り組みの要請等はあるか。

答 広告掲載依頼、ポスターの掲示等の依頼があった。

要望 今後も積極的に登録者増、利用者増に取り組んでいただきたい。

総合型地域スポーツクラブについて

問 このスポーツクラブではどのようなことを目指しているか。

答 すべての方が充実した生活を送れるよう生涯学習の拠点づくりを目指している。

問 設立へ向けてどのような取り組みをしているか。

答 地域住民主体のワークショップ等。

防火対策について

問 京都市伏見区の放火事

件を受け、交野市内のガソリンを取り扱う販売所にどのような指導をしているか。

答 携行缶でのガソリン購入者には、本人確認し使用目的を記録する等。

問 身分証明書の提示は知らなかった。どのように周知しているか。

答 HPやポスター掲示等。

空き家対策について

問 平成31年4月に策定した空き家等対策計画の内容は。

答 空き家発生抑制など総合的な対策への取り組み。

問 空き家をシェアハウスとして活用している会社があるが、誘致できないか。

答 専門家等との連携により、そのような会社が活用できるのではないか。

外出支援について

問 社会情勢の変化を受け、ゆつゆつバスの廃止することには一定理解しているが、進め方には問題がある。時間をかけて議論することが必要と考えるがどうか。

答 路線バスの維持継続は早急に対処が必要。

問 新たな外出支援施策については効果検証の結果次

第では修正されるのか。

答 効果検証を行いながら運営に反映していく。

要望 反対意見にも耳を傾け、説明をしっかりと行い市民と共に歩む市政運営をお願いする。

マイナンバーカードについて

問 全国と交野市内での普及率は。

答 全国平均で15%、交野市内では約16%。

問 マイナンバーカードはメリットも多いがデメリットはあるか。

答 身分証の機能があるので紛失すると個人情報が出す恐れがある。

要望 利用促進にもつながるので活用方法を広げていただきたい。

財産管理について

問 備品の維持管理は誰が行なっているのか。

答 施設管理担当課や事業実施担当課。

その他の質問

防犯・交通安全について、障がいのある方々の生活支援について

会派無所属

山本 景



人口が減少の中での延べ床面積を増やす総事業費が高騰する可能性がある庁舎整備について

問 近年の庁舎の新築の建築単価は

答 大和高田市、新築庁舎の延床面積1万平米で総事業費約59・5億円を想定

柏原市、新築庁舎の延床面積1万平米8500平米で総事業費45・8億円を想定

意見 当初、平米単価40万円を想定

今のケースで周辺整備も加えた平米単価は60万円

交野市の場合、(新築庁舎の延床面積が)1万3000平米のため70億円とか80億円とかかなり高額になる可能性

問 交野市の人口の想定は

答 推計人口は2040年で6.9万人、2060年で6.1万人

問 現庁舎が利用できなくなるタイミングで人口に応じた庁舎整備をするのはどうか

答 防災面の課題、バリアフリーの課題等の対応のため早急な対応が必要

公明党


三浦美代子


中谷 政人


友井 健二

安心安全のまちづくりについて ほか

問 都市計画マスタープランの策定についての考えは？

答 総合計画基本構想の改定に合わせて一体的に進められるよう取り組む。

問 JR星田駅北地区の土地活用（星田交番の移転）についての市の考えは？

答 適切な時期を見定めて市庁内連携を図り関係機関等とも協議を行う。

問 星田駅北地区の開発に伴う児童・生徒の学校区は？



交野市内の農地

答 児童・生徒数の推計を行い星田駅北地域の学校区は来年度上半期中には確定したい。

問 人・農地プランの策定の考え方については？

答 今回の事業は真のプラン作成が求められているので市のアンケート項目によって行う予定。

要望 都市計画マスタープランの改定も含め大事な時期と考える。営農が転換を望むが農政部局が現状を把握し分析した後、地区の方向性を見定めてほしい。

問 浸水対策（浸水頻度の高い地域／郡津地区や駅前住宅など）について

答 現在、浸水対策の検討を進め、経済性も含めた実現可能性のある施設整備に向け鋭意進めている。

教育行政について

問 市としてのいじめ対策

及びSNS利用した相談窓口は？

答 いじめアンケート年3回実施。いじめ解消後も3か月見守り期間設定。SNS相談は3月末まである大阪教委のLINE相談を全生徒に周知。

要望 SNS相談アプリ「STOPit」の導入を要望。

問 GIGAスクール構想、整備内容は？メリットとデメリット対応は？

答 児童生徒に1人1台の端末整備とLTE回線通信ネットワーク整備を行う予定。教室外学習も使用可能。使用アプリ精選、通信制限等行う。

高齢者施策について

問 一人暮らしの高齢者にとって入院や施設入所に保証人がいなくて契約に至らないことがあると聞くが？

答 基本的には入院入所を拒否してはならないが、現状は厳しいと理解している。

問 社協の支援など考えられるが、市の考えは？

答 身元保証は解決が困難な課題もあり、先行事例も含め研究する。

問 サポカー補助金、介護予防観点が補助上乗せは？後付け装置周知は？

答 運転継続で要介護の危険低減、認知症予防一定の効果あり。補助の予定なし。後付け装置は安価取り付け可の為、周知啓発図る。

健康福祉について

問 新型コロナ対策（学校・患者発生時等）は？

答 短時間登校し健康状態の把握努める。学習内容未終了は確実に引き継ぐ。罹患者発生時は関係機関と連携とり対応。

市民サービスについて

問 期日前投票所の増設を？

答 増設に向け、市民の投票機会の更なる充実に向け最善策を引続き検討する。

その他

- ・保育園の入園選考におけるAI導入を要望
- ・がん検診の無料化に向けて助成拡充を要望
- ・幼児教育保育の無償化について

会派無所属

松村 紘子



外出支援について

問 新たな外出支援施策について市長の考えは？

答 路線バスの維持・継続、対象者・手段の拡大を行えると考えている。

問 ゆつゆバス廃止で外出支援の対象外となる層への支援策はあるのか。

答 3年の経過措置後は対象外となる。

要望 対象外となる利用者の手立てを検討するよう求める。

問 最寄駅1km、バス停300mをバス・駅の充足範囲と定義しているが、この基準の決め方は？

答 一般的な公共交通検討の際に使用される距離として認識。

要望 国交省は各地域の実態を踏まえ基準を設定するよう求めている。地域の実態調査をしたうえで決めるべきである。同時に、公共交通計画の策定とゆつゆバス廃止路線の補完方法を検討するよう求める。

市民クラブ



野口 陽輔



久保田 哲

公共交通のあり方について

ほか

問 市長の施政方針に、本市の路線バスを取り巻く環境は、団塊の世代の定年退職や高齢化等に伴い、利用目的が通勤交通中心から生活交通中心に変化しているところ。この社会状況の変化の中で、路線バス利用者が減少し、その路線の維持継続が困難となっている中、持続可能な地域公共交通に向けた市の基本的な考え方を定められたが、その内容についてお聞きしたい。

答 本市としては、「地域の誰もが利用できる持続可能な利用しやすい地域公共交通体系の実現」、「路線バスの維持・継続に向け、ゆうゆうバスをはじめとする外出支援サービスのあり方等を見直し、持続可能な地域公共交通体系の実施」及び「地域公共交通の利用促進と持続可能な運行体制の実現に向けた多様な取組」の3点を基本方針とし、地域公共交通の維持継続を目指すこととしている。また、地域公共交通の利用促進については、利用者に対する利便性の向上策として、路線バス情報の提供やバス待ち環境の整備などに取り組む



京阪バス

むなど、多様な利用促進策を実施する必要があると認識している。持続可能な地域公共交通体系の構築に向け、地域、交通事業者、行政による継続的な意見交換を実施し、それぞれの役割分担で取り組む必要があると考えている。

公共施設のあり方について

問 公共施設の多くは、人口急増期における様々な需要の増加に対応するため設置されてきたものが多く、1施設1機能というものが多くなっている。これらが一斉に更新時期を迎えるのが施設老朽化対策での課題であり、今後の方針として総保有量の減少を目指し、機能の複合化で検討していくという手法は、誰もが理解できるが、私は、これらの公共施設には経営的な視点、新たな価値の創造という視点が必要かと考えて

いる。本市では、公共施設等再配置計画において、施設別に今後の方向性を示しているが、今申し上げたような視点についてはどのように考えているのか、お聞きしたい。

答 経営的な観点から、施設や機能の可能性を民間事業者に問う市場調査を行うなどの民間活用手法も多く取られてきている。こうした視点は、施設の運営方法の見直しを検討する際にも、その場所の可能性を考える上で有効であると考えている。また、新たな価値の創造という面で、公共空間をどのように活用していくのか、施設単体ではなくエリアとしてマネジメントすることの検討も必要と考えている。

その他

空き家対策について、交通事故対策について

会派無所属

片岡 弘子



農業施策について

問 国が進める人・農地・プランの実質化により、どのようなプランが作成され、保全されるべき農地を残していくのか。

答 アンケートを実施し、その結果や話し合いを通じて地図による現況把握を行った上で経営体への農地の集約化に関する将来方針を作成し、最大の目的である担い手への農地の集約化がどこまで可能になるかは、地域の話し合いの結果農地を継続される限り、地域と市で共有し、課題解決出来るよう担っていききたい。

要望 良好な農地が残され、また、農業を続けていたにもかかわらず、行政としても今ある課題をしっかりと共有し、農業をされる方が魅力を感じるような販路の確保などの検討も進めるようお願いする。

令和2年度一般会計予算を可決しました！

令和2年度一般会計予算を可決しました！

△予算とは？▽

一般会計年度における地方公共団体の収入支出や、将来にわたる金銭債務を負担する行為等を見積もった計算書等であり、一定の形式により長が作成して議会に提出し、その議決を経ることにより成立するものです。

△本会議（3月27日）での

反対・賛成討論の内容▽

① ゆうゆうバス廃止に伴う代替案では、民間バスが残る確約もない。ゆうゆうバスの路線補完や持続可能な運行ができるよう配慮した地域公共交通計画を策定すること、利用者の方の声を聴いたうえで、歩行可能な距離基準を別途定め、外出支援策を打つことを要望する。星田北土地地区画整理事業、小中一貫校の建設、庁舎整備等、100億を超える予算に對して、その多くが市債で賄われ、将来世代に大きく負担を残すことになる。庁舎整備に關しては、敷地の見直し等できる限りコストを下げるよう努力し、小中一貫校の建設については、再考することを求める。以上のことから、反

對する。

② 令和2年度一般会計予算案は、ゆうゆうバスを廃止するということを含んでいるため反対する。

③ ゆうゆうバスを4月で廃止すれば、身近に利用できる交通手段がなくなる方を残したままになり、審議会の結果やパブリックコメントの声を無視することは認められない。

新しい小中一貫校の施設や運営、工事期間中の通学の在り方なども、保護者や地域住民の納得がないまま、基本設計を進めていくべきではない。庁舎の移転、建て替えでは、新庁舎への交通手段の充実が必要不可欠であり、青年の家の利便性、地域での避難所であることも踏まえて、現在の施設を継続することも含め、再度検討すること。身近な市こそが市民の暮らしを守り、福祉の増進を図るといふ、地方自治体本来の市政運営を進めることを求め、反対とする。

予算案に賛成

④ 地域経済の後押し、教育環境の充実、市民福祉の向上に重点を置かれた予算編成となっ

ており一定評価する。新たな福祉施策については、より市民に適した外出支援施策となるよう要望を申し添える。市民から預かった税金を1円たりとも無駄にすることなく、最小の経費で最大の成果を上げていただくようお願いし賛成する。

賛

⑤ 昨年度と比べて、新年度予算案は増加した予算案になっているが、厳しい財政状況の中、一定理解できる予算編成になっている。財政運営においては、持続可能な財政運営の確保のための財政規律と財源確保策を検討していただきたい。また「ゆうゆうバス」に代わる新たな「高齢者・障がい者等外出支援事業」については、1つ、路線バスの持続可能な運行体制に向けて多様な利用促進方策を進めること。2つ、地域、交通事業者等と連携し、持続可能な地域公共交通体系の実現を目指すこと。3つ、新たな外出支援制度の市民への周知徹底と施策の効果検証を行うこと。以上申し添えて、賛成する。

採決の結果▽

賛成9対反対5で賛成多数により可決（賛否の状況は、2ページ下段を参照）

● ● ● ● 請願の要旨 ● ● ● ●

請願第1号 ゆうゆうバス廃止についての請願

ゆうゆうバスは、高齢者や障がい者などの買い物、通院、集まりや仕事などに利用され、なくてはならない交通手段となっている。

そのような中、交野市は昨年12月、京阪バスの路線を維持するためとして、ゆうゆうバスを廃止し、新たな外出支援策案を提案してきた。しかし、ゆうゆうバスに代わる新たな交通手段が提案されず、また、ゆうゆうバス廃止が京阪バスの路線維持につながる保証も示されていない。

これを検討してきた「交野市地域福祉計画推進審議会」は、市の提案を反対多数で否決したが、市は審議会の結果を無視して強引に進めている。また、私たちは、1月23日、市長あての「誰もが安心して利用できる外出支援・交通手段の実現まで、ゆうゆうバスの存続を求める」署名7468筆を提出した。さらに、この件の意見公募では、この制度で最大の1931件の意見が提出された。しかし、交野市は、審議会や市民の声を無視し、ゆうゆうバスの廃止を強引に進めようとしている。

少子高齢化社会の中、多くの自治体で「公共交通のあり方」が課題となり、持続可能で安心して利用できる公共交通をめざし、各自自治体で「公共交通計画」の策定が行われている。

私たちは、自然豊かな田園都市の交野で、住み続けたいと思っている。だからこそ、誰もが安心して利用できる公共交通の実現を望んでいる。よって、交野市議会が交野市に対し、以下の内容を要請することを請願する。

- ① 交野市は、ゆうゆうバスの廃止を1年間たな上げすること。
- ② 交野市は、行政・交通事業者・市民が共同して、「交野市公共交通計画」を1年間集中的に検討し、策定すること。
- ③ ゆうゆうバスのあり方は、その中で検討すること。

・・・不採択・・・

案 件 名		概 要	委員会 結果	本会議 結果
議21号	令和2年度交野市後期高齢者医療特別会計予算	予算総額15億1,490万2千円（前年比2億1,589万7千円増）	可決○	可決○
議22号	令和2年度交野市水道事業会計予算	予算総額39億821万2千円（前年比6億5,175万6千円増）	可決◎	可決◎
議23号	令和2年度交野市下水道事業会計予算	予算総額22億2,814万5千円（前年比1億2,241万9千円減）	可決◎	可決◎
議24号	交野市国民健康保険条例の一部を改正する条例	基礎賦課額、後期高齢者支援金等賦課額及び介護納付金賦課額の保険料・率の改定	可決○	可決○

その他の議案

案 件 名		概 要	委員会 結果	本会議 結果
報1号	専決処分事項報告（和解及び損害賠償の額の決定）	交野市青年の家執務室等の清掃整理を行っている中で、処分すべき不要物品を同青年の家駐車場内に仮置きしていたところ、突風に煽られたベニヤ板が飛散し、駐車していた相手方車両に当たり、損傷させた件における示談成立	—	報告
報2号	専決処分事項報告（和解及び損害賠償の額の決定）	燃やすごみ収集中に、塵芥車が曲がり角を右折する際、右内側の相手方住宅の角に置かれていた石を踏み、その石が弾かれて相手方の玄関前ポーチの階段のタイルを破損させた件における示談成立	—	報告
報3号	専決処分事項報告（和解及び損害賠償の額の決定）	粗大ごみを収集する際に、同住宅敷地内の自転車に、職員が誤って粗大ごみを当てたことにより、自転車が転倒し、同住宅敷地内に駐車していた相手方車両に接触し、相手方車両を損傷させた件における示談成立	—	報告
報4号	令和元年度交野市下水道事業会計予算繰越計算書	翌年度繰越額3億3,300万円（污水管渠新設事業ほか）	—	報告
議1号	監査委員の選任	任期満了に伴う「小串弘明」氏の再任	—	同意◎
議2号	公平委員会委員の選任	任期満了に伴う「丹羽敬」氏の再任	—	同意◎
議3号	固定資産評価員の選任	「奥野一志」氏の辞職に伴う後任者「倉澤裕基」氏の選任	—	同意◎
議16号	交野市監査委員条例等の一部を改正する条例	「地方自治法等の一部を改正する法律による地方自治法」の一部改正に伴う所要の改正	—	可決◎
	議員の派遣	東部大阪治水対策促進議会協議会委員である議員の派遣他	—	決定
請1号	ゆうゆうバス廃止についての請願	※P7 請願の要旨を参照	—	不採択
	令和2年度交野市一般会計予算に対する修正案	福祉巡回バスを令和2年度も運行させ、廃止の代わりに計画されている「交通不便地区移動支援事業」、「送迎車両購入費助成事業」及び「妊婦移動支援サービス事業」を削除するもの	—	否決
議員5号	令和2年度交野市一般会計予算に対する附帯決議	令和2年度交野市一般会計予算の執行にあたり、市民生活の向上につながるよう予算の執行をおこなうことを求めるもの	—	否決
議員1号	公立学校教職員への「1年単位の変形労働時間制」導入の撤回を求める意見書	教員の命と健康を守り、行き届いた教育を進める立場から、公立学校教職員への「1年単位の変形労働時間制」導入の撤回を求めること等	—	可決◎
議員2号	選択的夫婦別姓制度の法制化に関する意見書	家族のあり方が多様化し、女性活躍を推進する時代において、同一戸籍・同一氏の原則を維持しながら、旧姓使用にも一般的な法的効力を認める選択的夫婦別姓制度の法制化に向けて早急に議論を始めること等	—	可決○
議員3号	新たな国民負担に伴う地方議会議員の厚生年金加入に断固反対する意見書	新たな公費負担を伴い、地方議会議員を特別に厚遇するような、地方議会議員の厚生年金加入に断固反対すること等	—	可決○
議員4号	市長の専決処分事項の指定についての一部改正	「地方自治法等の一部を改正する法律による地方自治法」の一部改正に伴う所要の改正	—	可決◎
	議会運営委員会の所管事務調査	閉会中の継続調査の申し出	—	決定
	常任委員会の所管事務調査	閉会中の継続調査の申し出	—	決定

※議は議案、報は報告、請は請願、議員は議員提出議案です。

※◎は満場一致、○は賛成多数です。

議会で決めたこと

令和2年第1回議会定例会（2月25日～3月27日）

総務文教常任委員会に付託した議案

案 件 名		概 要	委員会 結果	本会議 結果
議4号	交野市学校教育振興基金条例の制定	学校教育環境の整備その他教育振興の事業の財源に充てるための交野市学校教育振興基金の設置	可決○	可決○
議6号	交野市文化財保存活用地域計画協議会条例の制定	文化財保存活用地域計画の作成及び変更並びに認定文化財保存活用地域計画の実施に関することについて、調査及び審議するための附属機関の設置	可決○	可決○
議9号	交野市職員のサービスの宣誓に関する条例等の一部を改正する条例	会計年度任用職員制度が導入されることに伴う関係する条例についての所要の改正等	可決○	可決○
議10号	交野市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	任期付教育職員給料表について、令和元年の大阪府の職員の給与等に関する人事委員会勧告並びに大阪府教職員の給与制度を踏まえ、教職員間の均衡を図るため大阪府に準じて給料表の特例措置を設けるもの	可決○	可決○
議13号	令和元年度交野市一般会計補正予算（第5号）	歳入歳出それぞれ18億4,087万1千円（退職手当の増加分ほか）の増額補正並びに繰越明許費の追加及び地方債の追加等	可決○	可決○
議17号	令和2年度交野市一般会計予算	予算総額269億8,150万1千円（前年比11億5,141万1千円増）	可決○	可決○
	令和2年度交野市一般会計予算に対する修正案	福祉巡回バスを令和2年度も運行させ、廃止の代わりに計画されている「交通系ICカード活用公共交通機関運賃購入費補助事業」、「交通不便地区移動支援事業」及び「送迎車両購入費助成事業」等を削除するもの	否決	—
議20号	令和2年度交野市公共用地先行取得事業特別会計予算	予算総額10億3,780万4千円（前年比2億9,278万1千円増）	可決○	可決○
議25号	令和元年度交野市一般会計補正予算（第6号）	歳入歳出それぞれ6,747万2千円（電源キャビネット設置等工事ほか）の増額補正並びに繰越明許費の追加及び地方債の追加	可決○	可決○
議26号	令和2年度交野市一般会計補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ1億3,916万4千円（端末通信料等ほか）の増額補正及び債務負担行為の追加	可決○	可決○

都市環境福祉常任委員会に付託した議案

案 件 名		概 要	委員会 結果	本会議 結果
議5号	「みんなで咲かそう手話の花」交野市手話言語条例の制定	手話への理解の促進及び手話の普及に関して基本理念を定め、市の責務並びに市民及び事業者の役割を明らかにするとともに、施策の基本的事項を定めるもの	可決○	可決○
議7号	交野市水道事業経営審議会条例の制定	本市水道事業経営の適正化を図るため、水道事業経営等の調査及び審議するための附属機関の設置	可決○	可決○
議8号	交野市印鑑条例の一部を改正する条例	「成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律」の施行等に伴う所要の改正	可決○	可決○
議11号	交野市国民健康保険条例の一部を改正する条例	「国民健康保険法施行令」の一部改正に伴う国民健康保険料の軽減対象世帯に係る所得判定基準の改正	可決○	可決○
議12号	交野市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例	「学校教育法」の一部改正に伴う所要の改正	可決○	可決○
議14号	令和元年度交野市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	歳入歳出それぞれ1億5,000万円（財政調整基金積立金）の増額補正	可決○	可決○
議15号	令和元年度交野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出それぞれ5,692万8千円（後期高齢者医療広域連合納付金）の増額補正	可決○	可決○
議18号	令和2年度交野市国民健康保険特別会計予算	予算総額79億9,942万6千円（前年比2億7,197万5千円減）	可決○	可決○
議19号	令和2年度交野市介護保険特別会計予算	予算総額58億8,892万7千円（前年比3,614万5千円減）	可決○	可決○

● 総務文教常任委員会 ●

- ・学校教育ビジョン（中間見直し）について
- ・公共施設のマネジメントについて
- 〈視察：岩手県紫波町・遠野市〉 ほか

1月27日、2月4日、12日～14日開催



● 都市環境福祉常任委員会 ●

認知症予防の取り組みについて
〈視察：厚生労働省・東京都町田市〉

1月21日～22日、2月12日開催



● 全員協議会 ●

- ・交野市水道事業経営審議会（仮称）について
- ・交野市における今後の高齢者、障がい者等に対する外出支援策（案）のパブリックコメント結果について

1月27日、2月18日開催



● 広報委員会 ●

「議会だより」の編集について

1月10日開催



トピックス

<2月5日>

議員を対象に普通救命講習が行われ、AED（自動体外式除細動器）の使い方などについて、講習を受けました。



<3月27日>

「議案第5号『みんなで咲かそう手話の花』交野市手話言語条例の制定について」が満場一致で可決され、議場で当事者及び支援者等による記念撮影が行われました。



令和2年第2回議会定例会の予定
～議会の傍聴にお越しください～

6月4日（木） 本会議（議案上程・採決）
6月12日（金）～16日（火） 本会議（一般質問）
6月18日（木） 総務文教常任委員会
6月19日（金） 都市環境福祉常任委員会
6月29日（月） 本会議最終日（委員長報告・採決）

※掲載している議会日程はあくまでも予定であり、変更の可能性があります。